

福島日仏協会・福島菽友会合同新年会開催

平成31年2月8日ザ・セレクトン福島で、合同新年会を会員40名出席のもと開催しました。



瀬谷俊雄理事長より、「1月に東京で開催された日仏会館新年パーティーに出席してきました。昨年は日仏修好通商条約が締結されて160周年の節目の年でしたが年末にゴーン氏逮捕の事件で揺れ今後の成り行きが注目されます。フランスはEUの主要国で日本経済への影響力を持っている。この後の講演を聞いてフランスへの理解を深めたい」と挨拶がありました。

続いての記念講演では『最近のフランス事情』としてNHK 福島放送局局長鈴木仁さんから「自分の情報とNHK



欧州総局の情報をまとめた話をします。マクロン政権の危機として燃料税引き上げ策が反発を呼び、イエローベスト運動が年末から仏国各地で発生して政府への抗議活動が継続している。国内で進む格差、富への攻撃から車放火・店舗略奪等報道されている。明確なリーダー無き運動の勃発はSNS時代をあらわしている。マクロン大統領は高額給与の投資銀行家の職を離れ政界に転じて2017年5月、史上最年少39歳で大統領に就任した。

就任後の『改革案』の挫折と出直しで、市民との対話により国王型大統領から脱却する途上の混乱であり、改革と説得の両立が課題です。ゴーン氏逮捕事件は日仏車メーカーの経営統合をめぐる騒動を超え日仏政府間のトゲとなる懸念もあり、仏国の日本司法制度への批判も出て沈静化が待たれる。文化交流面では、ジャポニズム2018(博覧会)があり、福島の桜フォト展が3月下旬にパリ日本文化会館で開催されます。福島の魅力を紹介し福島県支援に対する仏国へ感謝の意を伝え、県産品のPRもして風評被害払拭に努めます。注目してください」と話されました。

続いて、福島市国際交流協会会長福島市長木幡浩氏と福島菽友会会長河田亨氏の挨拶があり、来賓として出席された在仙台フランス名誉領事佐藤万里子氏、アリアンス・フランセーズ仙台院長グレゴリ・デュメン氏が、進行役の菅野輝栄理事から紹介された。乾杯の発声は、在仙台フランス名誉領事佐藤万里子氏がつとめ新年会を祝う温かいコメントを添えていただいた。和やかなムードで宴が進んだ頃、公務で遅参された郡山市長品川萬里氏が紹介されユーモア溢れる挨拶があった。宴もたけなわの頃合いで中締めを山川彬理事が演壇中央でグレゴリ・デュメン仙台院長を誘われ2人での1本締めとなりました。外気が厳しいところ、出席された皆様ご盛会ありがとうございました。



フランス語会話教室開講 4月13日(土曜日)

4月から新学期が開講いたします。全く初めての方でも大丈夫!

クラスは6クラス、あなたのレベルや希望に応じたクラスにいつでも入会できます。映画、音楽、旅行など、素敵なフランス文化が気軽に身につくフランス語教室です。国際経験豊富な若くて気さくなイザベル先生の授業はわかりやすいと好評です。年30回。場所は福島県林業会館1F会議室。ぜひ一度見学にお出かけください。

2019年度 フランス語会話教室 日程表 年30回

前期: 15 cours			後期: 15 cours			講座	時間	受講料
Avril 4月	13	20	Oct. 10月	5	12 26	入門	10:00~11:00	78,000
Mai 5月	18	25	Nov. 11月	2	16	上級	11:00~12:00	90,000
Juin 6月	8	15 29	Déc. 12月	7	14	初級1	12:00~13:00	78,000
Juill 7月	6	20 27	Janvie 1月	11	18	初級2	14:00~15:20	78,000
Août 8月	3	24 31	Février 2月	1	8 22 29	中級1	15:20~16:40	78,000
Sept. 9月	14	21	Mars 3月	7	14	準上級	16:40~18:00	82,000

お申込み・お問合せ 福島日仏協会 石堂まで TEL: 090-7063-3453 (中、高生 68,000円) ※4回分納可

私のフランス語日記

Tôt le matin, je suis partie pour Kanazawa en Shinkansen avec des amies. Il faisait très beau.

J'étais ravie. La porte Tuzumi de la gare de Kanazawa nous a accueillies.

Nous sommes allées dans le jardin japonais Kenroku-en, dans le Parc du château de Kanazawa, et dans le quartier Higashi-Chayagai, etc. Que c'est magnifique ! C'est un site pittoresque. J'ai mangé du poisson de Nodoguro, du crabe, et des abalones, etc. C'était frais et vraiment délicieux !



Ensuite, nous sommes allées à Wajima en bus. Nous avons vu le spectacle de tambour "Goijinjo-Daiko", les décorations de fête "Wajima-Kiriko", l'artisanat de

Wajima, et le marché du matin, etc. Je me suis dit que l'art local dans la péninsule de Noto est profond et très intéressant.

J'étais fatiguée de marcher beaucoup, mais j'étais très heureuse. C'est peut-être un souvenir inoubliable.

Tamiko AOYAMA

朝早くに、私は友人たちと新幹線で金沢に出発した。すばらしい天気だった。私はワクワクしていた。

金沢駅の鼓門が私たちを迎えてくれた。私たちは、兼六園、金沢城公園、ひがし茶屋街などを周った。なんてすばらしいのだろう！まさに絵のような景色だ。私は、ノドグロという魚、カニ、アワビなどを味わった。新鮮で本当に美味しかった！



続いて、私たちはバスで輪島に向かった。御陣乗太鼓、輪島キリコ、輪島塗り、朝市などを見学した。能登半島の民俗芸能は、奥が深く、とても興味深いと思った。

たくさん歩いて疲れたけれど、とても嬉しかった。忘れられない思い出である。

会話教室受講生 青山民子

次回は林千鶴雄さん、お願いします！

懐かしいスイスジュネーブの生活

私は、ケニア、スイス、オランダ、マレーシアと通算12年を海外で生活して参りました。今日は、ジュネーブでの生活についてお話しします。

スイスには、国際機関が多く、中東地域に赴任している外国企業の方や外交官家族のため、そしてまた世界のお金持ちの子ども達のために寄宿舎付きの学校がいくつかあります。私はそこで中学、高校時代を過ごしました。当時、ハイジが流行っていたこともあり、スイスは私にとってあこがれの国で、小学生のころから20歳になったら幼なじみの友人と旅行したいと宣言していた国でもありました。外国に行けば、英語は自然と話せるようになる、金髪のお友達ができるとスイス駐在を楽しみにしていました。

庭にはうさぎやリスがおり、レマン湖畔に家が建っていたので、夏はレマン湖でお友達と泳いだり、バーベキューをしたりしました。また、鶏も家に15羽くらいおり、毎日生みたての卵を頂きながら餌をあげたり、庭にあるさくらんぼやりんご、洋ナシなどを取ってきてはケーキを作ったりして大自然に囲まれた生活を満喫していました。学校帰りにお友達と森で、ラズベリー摘みをして寄り道したことも思い出されます。しかし、勉強は大変で、毎日莫大な量の宿題と格闘していました。

寄宿舎付きの学校だったので、お金持ちの子が多く、中学生で、ロレックスやヴィトンのバッグ片手に教科書やノートを持って学校に来るお友達が大量にいました。ブラックカードを持っている友達もいて、相当なお金持ちでした。一度ロンドンに別荘のあるお友達の家に行ったことがあります。マンション入り口に2人の門番が立っており、中に入るとトイレもお風呂も金で驚き



ました。彼女はイエメンの石油王の娘さんでしたが、普段はいたって普通でしたので、世界のお金持ちは違うと驚きました。ただ、皆将来の夢をしっかりと持ってその目標に向かって勉強し、日本の高校生とは比べ物にならないほど大人で感心させられたことを思い出します。

高校卒業までの6ヶ月は両親が先に帰国したので、寮生活をしました。寮は、4人部屋でベッドと箆笥が一つ、消灯を過ぎると寮長が巡回するので、トイレや廊下で小さい明りを灯しながら、皆で夜遅くまで勉強しました。金曜日は高校2年生は夜8時まで外出してよく、電車でジュネーブの街に出て友達とマクドナルドでビックマックを食べ、買い物に行くのが楽しみでした。寮生活では食事を10人ひとテーブルで行いますが、お肉やサラダ、お魚など遠慮しているとあっという間に目の前から消えてしまいます。この生活が、私をしっかりと YES と NO の言える自分に変えたのではないかと今でも思っています。お蔭様で寮生活した間に、随分太ってしまいましたが…。

今振り返っても海外生活は、全てが新鮮で、楽しかったのを思い出します。ですから、私は福島で育った子ども達に将来外国に行くことを薦め、英語が下手でも大丈夫と伝えながら英語を教えています。沢山の子ども達が世界に羽ばたくようにと心から願っています。

佐藤美奈子(会員)

パリ・国立オペラ 350 周年

今年(2019年)は、パリ・オペラにとって、2つの記念すべき年となっている。

設計者の名から、ガルニエ宮と呼ばれるオペラ・ガルニエの歴史は、1669年にまで遡り、350周年を迎えた。昨秋から始まったオペラ・シーズンの中でも、とりわけ大晦日の晩に催されたガラ・コンサートは見逃せなかった。

年末年始をパリで過ごそうと支度をしていた昨年の師走、フランス各地での「黄色いベスト」による過激な抗議行動が報じられていた。ガソリン増税に反対して始まったデモは、次第に拡大し、特にシャンゼリゼ、オペラ座周辺での衝突には、いささか不安を覚えた。

だが、迎えたパリの2日目の朝。パリの冬の夜明けは遅い。しかも朝陽が射すこともなく、薄墨色の空はそのまま暮れてしまう。茜色に染まる夕焼けもない。



オペラ座 正面

今宵大晦日。色彩の乏しかった日中の埋め合せをするかのように、夜のガルニエ宮は美しく輝いている。すでに着飾った人たちが次々と門の中へと入ってゆく。振袖姿の若い日本女性が注目をあびている。扉の前でセキュリティ・チェックを受けるが、チケットを提示するときの誇らしさに比べれば何ほどのこともない。扉を抜けると白い大理石の大階段が正面に現われる。多数の燭台に灯がともされた大階段は途中からゆったりと左右に分かれ、大休憩室へとつづいている。



オペラ座 大休憩室

この縦長のホールは、大統領主催の晩さん会も開かれることがあるという。すばらしい天井画、まばゆいシャンデリア。幕間には、ここがシャンペンを楽しみながらの社交場となる。

開演を知らせるベルが鳴る。余計なアナウンスは一切無し。観客席に入る。絢爛豪華な内装に少女のぼせながら、自席をさがす。133番。オーケストラボックスより4番目の中央寄り。椅子は深紅のピロード張り、肘かけにはふっくらと丸味をもたせている。背もたれの縁は木製金メッキ。腰かけ部分は、はね上がり固定されている。ゆっくり腰をおろす。少し狭いかな、いや350年前の貴婦人たちは、ほっそりしていたのだろう。舞台には濃厚な赤の緞帳がおりている。タッセルで一部が引き上げられている。用意してきた双眼鏡でのぞいてみると、

なんとこれが描かれた緞帳。天鷲絨の質感、襪の明暗など、本物と見紛う。上部には確かに「1669」の数字が読みとれる。

天井を見上げる。シャガールの描いた天井画がある。当初吊り下げられていたシャンデリアは落下事故により、今は無い。それで思い出した。公演の合間に休憩時間があるのは何故か。由来は燃え尽きかけたロウソクを交換するための時間だったのだと。ガイドの話。電気がなかった時代の名残りか。かくして緞帳は上がった。

翌朝は元旦。フランスも祝日なので商店はみな休業。昨夜の夢の跡、オペラ座付近を歩いてみる。あんなにもきらびやかだったガルニエ宮は、化粧を落とした老俳優のようなのだ。通りの人影もまばら。ノエルから年末にかけて飲み食いしつづけたパリの人たちは、疲れた体と胃袋を休ませているのだろう。通りのショーウィンドウには、ひび割れたままのところもあるし、ベニヤ板で覆った店も多い。デモのとばっちりだろう。バスに乗る。午前中は無料だと、不機嫌に運転士が言う。乗客は爺さん一人。

凱旋門を遠くに見ながらシャンゼリゼを歩いてみる。

昨夜は、通りいっぱい人が集まり。カウントダウンしていたのをテレビで見た。空ビンや缶などを散水車が掃除していた。舗道を歩く時は注意が要る。パリ名物の犬の落としものがあるのは相変わらずだが、新しいモノを発見した。



細身のスクーターのような乗物が数台、放置されている。スマホを使って利用する新しいレンタサイクルだという。電動なので自転車より速く、若者に人気なのだとか。どこでも乗り捨てできるので、舗道を占拠し邪魔だと、パリ在住のAさんは顔をしかめた。

さて、2つ目の記念とは？パリにはオペラ座がもうひとつある。革命200年を期して創設された、オペラ・バスチーユである。民衆蜂起の地、バスチーユに1989年設立され、30年を迎えた。ガラス張りのモダンな劇場である。機能性を重視し、舞台装置はコンピューターによって制御されるという。しかし、何とんでも、ガルニエ宮との大きな違いは、客席にロイヤルボックスが無いことだろう。やはりというべきか。

中脇ゆき子(会員)

フランス料理教室 2019 年度受講生徒さんを募集中です

事業計画の1つで料理教室を下記の2コースで開いています。

コース	火曜日コース	水曜日コース
日程	前期・後期各4回 前期 4/9、5/14、6/11、9/10 後期 未定	前期・後期各4回 前期 4/10、5/8、6/12、9/11 後期 未定
講師	高橋和美 (ザ・セレクトン福島 総料理長)	菅野喜代治 (ミュゼ・ドゥ・カナール オーナシェフ)
教室	2コースとも、MAX ふくしま4F A・O・Z (アオウゼ) 午前10時～12時迄	



本格的仏料理の作り方と盛り方を一緒に学びませんか。

福島日仏協会の年会費は5,000円ですが、家族の方は食材費だけで受講できます。

詳細については、事務局石堂 (☎090-7063-3453) まで

久美子の歳時記～Jadore lesgateaux (4)

いつになく早い春の訪れを感じる今日この頃～日差しの暖かさがうれしいですね。

今回はお花見やお友達とお茶会に持っていき、簡単でとても美味しい焼き菓子をご紹介します。



＜Financier フィナンシェ＞

フィナンシェは日本でもポピュラーなお菓子として知られていますが、焦がしバターとアーモンドの風味豊かなフランスの焼き菓子です。作り方はとてもシンプルで、用意した材料を順に混ぜて焼くだけ！焼き立てなら、まわりのカリカリ感と、ねっとりしっとりとした中身とのコントラストを楽しめ、日にちを置けば、よりしっとりとした口あたりとじわっと広がる素材のうまみを楽しめます。

そもそもフィナンシェとはフランス語で「**資産家**」「**財界人**」と言った意味を表す言葉。こんがり焼きあがった長方形のお菓子は、金の延べ棒を連想させるとも言われます。そんなことから幸せを連れてくるお菓子とも呼ばれるフィナンシェ！作ってみませんか？

○材料 フィナンシェ型約12個分 ※何の型でも作れます。

無塩バター 100g 卵白 70g グラニュー糖 70g
薄力粉 25g アーモンドパウダー 50g

○作り方

1. オーブンを180℃に予熱し、薄力粉とアーモンドパウダーを合わせて振るう。
2. 焦がしバターを作る。(プール・ノゼットと言う) 鍋にバターを入れ、弱火で程よい茶色になるまで焦がしていく。焦げたら火から降ろし、なべ底を水につけて予熱で焦げるのを防ぐ。60℃ぐらいで混ぜ合わせるの、そのぐらいの温度で紙でこし、あくやこげを取り除く。
3. 卵白をボールに入れて、空気が入らないように、こしを切るように混ぜる。
4. 3にグラニュー糖を加え混ぜ、粉類もホイッパーで混ぜる。
5. 2の焦がしバターをたらしながら混ぜ合わせる。つやがでるまで混ぜる。
6. 型に流し入れ12～15分ぐらい焼く。

※今回はシンプルなタイプと、イチゴとさくらの塩漬けをプラスした春バージョンを作りました。

(料理教室受講生 本田久美子)

2019 年度春季 実用フランス語技能検定試験

公益財団法人フランス語教育振興協会

■実施級 1級、2級、準2級、3級、4級、5級

■実施日程 1次試験(1・2・準2・3・4・5級)

2019年6月16日(日)

2次試験(1級・2級・準2級の1次合格者対象) 2019年7月21日(日)

■受付期間 願書郵送によるお申込: 4月1日(月)～5月15日(水)※消印有効

インターネットでのお申込: 4月1日(月)～5月22日(水) 23:59 まで

■福島会場 福島学院大学 福島駅前キャンパス

